

国道254号バイパス ふじみ野地区のまちづくり

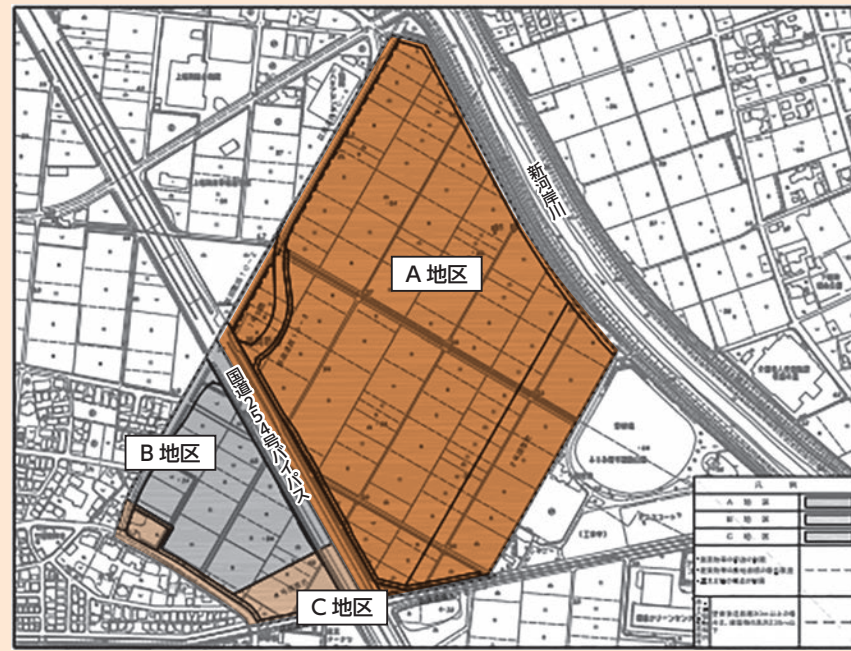
条例改正 全員賛成で可決

地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
令和3年3月30日、県より国道254号バイパスふじみ野地区の土地区画整理事業が認可され、地域の特性に応じ、良好な市街地形成が図られるよう条例の一部改正が行われました。

市道廃止 賛成多数で可決

ふじみ野市道路線の廃止
土地区画整理事業に関連する市道路線の廃止が審議されました。

問 改正の主な内容は。
答 地区整備計画の建築制限を条例に加えるもので、建築物の用途、最低敷地面積、最高の高さ、壁面の距離など4項目を定めた。区画整理施行区域内のA地区とB地区を工業系に、従来から土地利用されているエリアをC地区に区分し、各地区の最低敷地面積はA地区5万㎡、B地区2万㎡、C地区2000㎡とした。(一部適用除外あり)また、高さ限度はA地区とB地区は31m(一定要件を満たせば35m)、C地区は12m以下となっている。



地区整備計画図より作成

問 道路線の廃止の経緯は。
答 土地区画整理事業により公共施設の整備、改善等が行われ、道路の機能も一般交通の用に供されなくなるため、施行区域内の道路を廃止するものである。
問 廃止となった道路は、仮換地指定までの間はどのような位置づけとなるのか。
答 議決された後も所有者は市のままで、管理者も市ということになる。仮換地指定時に道路線の廃止の告示をした段階で土地区画整理組合に管理が移行する。

※仮換地とは…土地区画整理事業中に、対象地域の宅地の所有者などが仮に使用できる土地のこと。

契約の締結 全員賛成で可決

小中学校体育館に 空調設備設置の工事契約締結

市立小中学校体育館空調設備設置等
工事(その1~その7) 請負契約

市内小中学校の体育館に空調設備が設置されます。また、空調設備工事に併せて、トイレのバリアフリー化や床の改修工事なども行われます。

条例改正 賛成多数で可決

マイナンバーカードで 印鑑証明をコンビニ交付

印鑑条例の一部改正

10月1日からマイナンバーカードを使用して印鑑登録証明書がコンビニ等の多機能端末機で交付できるようになります。

問 条例改正の効果は。
答 市役所の開庁時間外に証明書の取得ができることや窓口の混雑緩和につながる。さらには、マイナンバーカードの普及促進が期待される。
問 マイナンバーカードの交付状況は。
答 5月末現在の交付率は36・4%で県内4位となっている。
問 コンビニ交付ができる自治体数は。
答 県内63団体中39団体である。
問 コンビニ交付の方法は。
答 コンビニでマイナンバーカードをかざし、利用者用電子証明書の4桁の暗証番号を入力する。
問 取得できる施設は。
答 セブンイレブン、ローソン、ファミリーマートでは取得できる。その他、日本郵便、イオンリテール、

問 市内小中学校19校を7つの契約に分けた理由は。
答 1契約あたりの学校数が多いと受注者の負担が大きくなり、また建設業者への受注機会を減らすこととなる。一方で、1校ごとにすると打ち合わせや契約事務が増え、工事管理を進めることが難しくなる。それらを勘案し適切な工事数、学校数とした。
問 工事期間等の全体のスケジュールは。
答 体育館は避難所としての役割もあることから、元福小・大井小・亀久保小・三角小・東台小・葦原中・花の木中・大井中は、7月に着工し11月に完成予定。その他の小中学校は、11月に着工し来年2月末までに完成予定である。
問 授業や部活動への影響は。
答 夏休み期間中に行うなど授業に支障がないように調整を図る。



部活動は総合体育館などの公共施設を利用する予定で調整する。
問 空調以外の工事内容は。
答 非常用自家発電機を設置し、照明はLED照明に更新する。
問 改修工事として屋根の防水工事、外壁の補修や塗り替え、サッシ、床の改修工事を行う。
問 バリアフリー改修工事は、スロープ及び手すりの設置を行う。
問 また、トイレは洋式化し、床をタイルからドライ化、オストメイト対応の工事を行う。

